

[課程—2]

審査の結果の要旨

氏名 チアン ティ フウアン (Tran Thi Phuong)

本研究は2010年6月から8月にかけてベトナム、タイビン省に在住するベトナム戦争に従事した65歳以上の退役軍人を対象にソーシャルサポートと鬱に関する質問調査を実施し、その関連性を分析したものであり、下記の結果を得ている。

1. ベトナムの退役軍人における鬱とソーシャルサポートの現状を把握するために、国際的に使用されている Center for Epidemiological Studies Depression Scale (CES-D) および Multidimensional Scale of Perceived Social Support (MSPSS) のベトナムバージョンを使用し、65歳以上の退役軍人828名に対し、インフォームドコンセントを得た後、質問調査を行った。CES-Dは20問から成る自己報告式の質問票であり、鬱を計測するための国際的な指標である。しかしながらベトナムでは20問の内1問は質問の妥当性を欠くということで使用されていない。従って本研究でも19問の質問票を使用した。MSPSSは12問から成る家族、友人、大切な人からのソーシャルサポートの有無を図るスケールであり、それぞれ回答は‘非常に反対する’から‘非常に賛成する’まで5段階のリッカート尺度で計測される。
2. その結果として、CES-Dの平均値は15.4 (SD9.2)であった。ソーシャルサポートの結果は平均値によって‘高い’または‘低い’レベルに分けられた。同様に家族からのサポート、友人からのサポート、大切な人からのサポートも平均値によって‘高い’‘低い’に分けられた。これらの関連は重線形回帰分析によって解析された。CES-Dの結果は質問票の性質上、国際的比較は不可能であったが、いずれもベトナムの退役軍人との間で鬱とソーシャルサポートは統計的に有意な相関があった。
3. また、家族、友人、大切な人からのサポートに分けそれぞれ鬱との関連を重線形回帰分析によって解析した結果、家族からのソーシャルサポートとの間に強い相関性がみられた。これにより、ベトナムの退役軍人における家族の役割の重要性が示唆された。
4. 更に、参加者を妻帯者、非妻帯者（未婚、離婚、死別）に区別した場合、妻帯者は693人であり、非妻帯者は135人であった。それぞれのCES-Dの平均値は妻帯者14.02(8.02)、非妻帯者22.54(11.37)であり、両グループ間の平均値の差は有意であった。そこでそれぞれのグループにて家族からのサポート、友人からのサポート、大切な人からのサポー

トとの関連をカイ二乗検定にて調べたところ、いずれも妻帯者のほうがより多くのサポートを感受していることがわかった。しかし、それぞれの層別に重線形回帰分析を行った結果、両グループにおいてソーシャルサポートは鬱と強い関連性を持つことがわかった。

5. しかし、層別重線形回帰分析にて更に家族からのサポート、友人からのサポート、大切な人からのサポートと鬱との関連を分析したところ、それぞれの種類のソーシャルサポートと鬱との関連に特徴がみられた。妻帯者のグループでは家族からのサポートをより感受する人が、非妻帯者のグループでは友人からのサポートを感受する人がより低いCES-Dスコアと有意に相関していた。この結果により、非妻帯者は妻帯者と比べてソーシャルサポートを感受しにくい傾向があるにも関わらず、中でも友人からのサポートは、退役軍人にとって鬱を減少させるために重要な存在であることがわかった。

上記の結果を以って、本研究はベトナムの退役軍人の鬱の傾向とソーシャルサポートの現状を明らかにし、また、妻帯者と非妻帯者間のサポートの感受の差異や、鬱と強い関連のあるサポートのタイプを解明した。ベトナム戦争に従事したベトナム退役軍人を対象にしたこのような研究は初めてである。また、ソーシャルサポートを受けにくい立場にいる非妻帯者へのメンタルヘルスの向上に重要なエビデンスを提供した。本研究は調査地に特異的な提言をし、重要な貢献をなしたと考えられることから、学位の授与に値するものと考えられる。